

令和6年度 第1回尾張旭市地域づくり懇談会 会議要旨

1 開催日時

令和6年10月1日（火）午前10時から11時30分まで

2 開催場所

尾張旭市役所南庁舎3階 302・303会議室

3 出席した構成員

6名

高橋 眞知子（名古屋経営短期大学、座長）、大川 正喜（尾張旭市商工会）、
水野 恵介（あいち尾東農業協同組合）、横山 史佳（尾張旭市観光協会）、
中島 康介（瀬戸信用金庫、酒向清治の代理）、
山口 純也（グリーンシティケーブルテレビ株式会社、寺師麻由の代理）

4 欠席者

0名

5 傍聴者数

0名

6 出席した市職員

(1) 企画課

課長 谷口 洋祐、課長補佐 寺尾 綾、政策企画係長 田中 広樹、
政策企画係主事 三戸 大聖、政策企画係主事 伊藤 舞香

(2) 産業課

商工振興係長 原 靖之（オブザーバー）

7 議題

(1) 尾張旭市第2期総合戦略総括評価について

(2) 尾張旭市総合戦略（令和6年度～15年度）について

8 会議の要旨

議題

① 尾張旭市第2期総合戦略総括評価について

座長の進行のもと、企画課から資料の説明。その後、出席した構成員と市の情報交換を行った。

- ・資料3の5ページ(1)商業の振興の数値目標「各種制度活用による経営力向上に取り組んだ商店数」の各種制度はどのようなものが含まれるのか。尾張旭市産業課と小規模企業等補助金や省エネ設備投資促進補助金等のPRをともにを行い、相談が多数あったと思うが如何か。

⇒本市で愛知県の融資制度を活用し、本市から信用保証の補助金を出した件数が実績値となっている。そのため、小規模企業等補助金や省エネ設備投資促進補助金は含まれていない。(市)

- ・基準値は、どのように算出をしたのか。

⇒基本的には、アンケートや事業をもとに平成30年頃に取得した数値となる。(市)

- ・資料3の5ページ(3)農業の振興の数値目標「地域特産品の出荷量」の地域特産品は何を指すのか。

⇒いちじくやプチヴェールを指している。いちじくについては、新規農家もいるが、既存農家の樹木が古くなっており、生産量としては少なくなっていると担当課から聞いている。(市)

- ・資料3の11ページ(12)防犯対策の推進の数値目標「治安がよく、安心して住めるとする市民の割合」は達成しているが、「防犯活動の延べ参加者数」は、達成していない。これは、治安が良く安心して住んでいるからこそあまり意識していないのではないかと。参加者数が高いのは良いことだが、少ないから雨マークの評価でいけないということではないと思う。

⇒「防犯活動の延べ参加者数」が少なくなっているのは、コロナ禍の影響が大きい。「治安がよく、安心して住めるとする市民の割合」は、達成しているため、市の進める施策は推進できていると考えている。(市)

- ・資料3の7ページ(4)の数値目標である「学校生活を楽しく送っている児童の割合」「学校生活を楽しく送っている生徒の割合」について、令和5年度の実績値があまり変わらないが、評価に差が出ていることに疑義がある。

⇒児童は小学生、生徒は中学生が当たる。児童の割合は、基準値95%だが、中学生は92.9%となっている。令和5年度の実績は児童では94.6%と0.4ポイント低下している関係で雨マークとなっている。生徒の割合では、令和5年度実績値93.9%と1ポイント向上し目標値に対しあと0.

1 ポイントとなっているため、評価は太陽マークとしている。いずれも微増、微減であることを考えると、評価は参考として見ていただきたい。

- ・資料3の5ページ(3)農業の振興の数値目標に、認定農業者と記載があるが、具体的にどのようなものを指すのか。

⇒認定農業者について、担当課に確認する。別添参照（市）

② 尾張旭市総合戦略（令和6年度～15年度）について

座長の進行のもと、企画課から資料の説明。その後、出席した構成員と市の情報交換を行った。

- ・高齢化とともに事業継承の課題は増えているか。

⇒ここ1～2年で、高齢化や工場の老朽化等が要因で廃業する人が増えている。

設備の老朽化で、従業員へ引き継ぐことが難しいという問題もある。創業者の支援については、尾張旭市・尾張旭市商工会・瀬戸信用金庫・日本政策金融金庫の共催で、創業セミナーを毎年実施しているが、セミナー後創業したのか等、後追いはできていないが、セミナー後商工会へ数名加入している。

⇒セミナー参加者からは、全5回参加して講師の先生が良く、受けて良かったという意見があった。その中の要望として、セミナーで基本的な知識は習得したので、個々の事業について個別相談等の対応をしてもらえると今後事業化するに当たって助かると聞いた。

- ・資料4の5ページ(エ)の指標「三郷駅前周辺整備事業の進捗率」について、これから三郷駅前周辺が整備されるということだが、具体的に教えてほしい。

⇒本市には、名鉄瀬戸線の駅が4つあるが、その中でも三郷駅は昔から栄えており、都市計画法では商業地域となっている。しかし、建物の老朽化や道路の狭さ等の問題があり、令和元年に準備組合を立ち上げ、令和5年に実際に実施する組合が立ち上がっている。市ホームページにも掲載されているが、高層マンションや公共施設、商業施設等を複合化する構想をしている。昨今の物価高騰や人材不足で工期は少し伸びるかもしれないが、令和15年度までには工事を完了したいと担当課から聞いている。（市）

- ・資料4の4ページ(イ)の指標「矢田川自転車道の延べ整備延長」について、バザー等のイベントがあれば憩いの場になると思う。

⇒担当課に伝える。（市）

- ・基準値はどのように収集しているのか。年齢層別に市民をピックアップしてアンケート等を実施したのか。

⇒アの指標については、3000人の市民へアンケートを実施し取得した。年齢別で結果を出すことも可能。（市）

- ・資料4の11ページ(ウ)の指標「製造品出荷額」の目標値は、「一百万円」と

いう記載があるが目標がないということか。

⇒「一」の指標は、推移を見守る指標としている。（市）

- ・資料４の７ページ（ウ）の指標「創業支援を受けた創業者の数」は、単年のものか、また創業支援には何が含まれているのか。

⇒担当課に確認して回答する。別添参照（市）

- ・これからの１０年に向けて策定された総合戦略について情報交換をすることができた。皆さまから出たさまざまな意見を活用し、これまで以上に大好きなまち尾張旭にできるよう、まちづくりを進めていただきたい。